

日本の欠点や問題点だけを挙げるのでは印象が良くないかも知れないので、良いところもあげられるようにしておきましょう)

4) 受験科目を分かっていますか

文系の場合は筆記試験で英語・小論文が、理系の場合は英語・小論文に数学・理科が加わるのが一般的です。そういった話はもうご存知かもしれません。しかし、英語はどんな問題が出されるか知っていますか。日本での出題ですから日本式の問題になることが多いです。日本の学生と同じ問題を課されることもあります。つまり、和訳しなさい、日本語で説明しなさい、誤りを指摘しなさいなどの問われ方をされることがあります。アメリカで英語を使う場面に比べると、受験英語としての知識、例えば分詞構文において主語が異なる場合はどういう形になるのかなど、が求められてきます。文を読んで状況が分かるだけでは点に結びつかないこともありえます。日本式の出題は英語だけではなく、数学や理科でも学習用語を日本語でも分かっていると、日本語で書かれた問題文が分からないということも起こりえます。小論文でも、日本語の文章がきちんと書けるだけでは不十分なことがあります。まず文章を読んで、その内容を要約してから、自分の意見を書かせるということがあるためです。文章の論理性やごい力だけでなく、読解力も要求されているのです。

以上4点挙げておきましたが、日本に向けての学習だけにとらわれてもだめです。海外にいたからこそ得られるものもたくさんあるはずです。海外生活・学校での勉強のなかから、そういう部分も大切にしてください。「海外で得たこと」は、面接時によく聞かれる項目です。

駿台国際教育センター

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-5-4
TEL : 03-5259-3430 FAX : 03-5259-3064
HP : <http://www.sundai-kaigai.jp/kokusai/>
E-mail : kokusai@sundai-kaigai.jp

井原 俊哉 (いはら としや)

駿台国際教育センター チーフカウンセラー



ニューヨーク日本人学校中等部卒業、大検取得、東京大学教養学部にて科学史・科学哲学を専攻。学校法人駿河台学園に入職し、大検コース・通信制高校サポートコース・個別指導コースにて進学指導と学習指導(生物・理系論文)を担当。現在は、帰国生のコースである駿台国際教育センターにてカウンセラーとして進学指導を担当。

駿台国際教育センター

北米 帰国生大学進学講演会

「帰国生大学入試の動向と対策」

10月29日 - 12月12日

開催都市	日時
トロント Toronto, Ontario	10月29日(金)
ニュージャージー New Jersey	10月30日(土)
ニューヨーク (CT グリニッジ)	10月31日(日)
レキシントン Lexington, KY	11月2日(火)
シンシナティ OH/KY	11月4日(木)
デトロイト Detroit, MI	11月7日(日)
コロンバス Columbus, OH	11月9日(火)
シカゴ Chicago, IL	11月11日(木)
ニューヨーク (NY ホワイトブレインズ)	11月14日(日)
バンクーバー Vancouver, BC	12月3日(金)
サンフランシスコ San Francisco, CA	12月5日(日)
シアトル Seattle, WA	12月7日(火)
ポートランド Portland, OR	12月9日(木)
ロサンゼルス Los Angeles, CA	12月12日(日)

講演内容:

帰国生大学入試の動向の他、現地にいる間に身につけておきたい事柄について、2010-2011年度入試の動きを追いながらお話し致します。

- ① 帰国生入試とは・・・
- ② 2010年度入試総括及び2011年度入試の動向
- ③ 今後の学習対策
- ④ 駿台の帰国コースについて

参加費: 無料

詳細はHPでどうぞ

<http://www.sundai-kaigai.jp/kokusai/>



今年卒業した高校生の帰国生大学入試のシーズン真っ盛りです。これは、井原先生の来年の受験生に対するアドバイスです。

帰国生入試は、大学が「海外で得たこと」を求めるものです。それは、海外での日々の生活の中で身につけていくものですが、自分自身で意識し、まとめて、表現して、初めて「体験」として語れます。

「日本に向けての学習だけ」ではなく、海外での生活を大切に!